

# No. 1493

## 食品Gメン

年の瀬を迎えて正月用品を始め食料品が大量に流通します。このため食品の製造、調理、保存などが粗雑になりがちです。昨年12月は951人、年明けの1月には3,182人も食中毒が発生しています。厚生省では12月1日から28日まで「年末食品一斉取締り月間」として全国の食品衛生監視員による食品市場等の監視、指導を行っています。東京築地の市場でも食品Gメンが出勤し店頭の商品の点検、指導を行いました。食中毒を防ぐために食物には充分気をつけたいものです。

## 師 走

今年もあとわずか、名古屋の四つのデパートでは、いま、歳末商戦たけなわです。ここ、松坂屋では従来のお歳暮商品と合わせて「空飛ぶフレッシュギフト」と銘打って国内はもとより、海外からの商品も扱っています。ちなみに売上げは昨年の10パーセント増しの290億円を見込んでいます。知多半島の中央部にある常滑市は、陶器の街として知られ、いま、来年の干支、丑の置物づくりが盛んに行なわれています。この置物には朱泥が使われ常滑独特の味わいを見せています。年間1千万人の参拝客が訪ずれるという熱田神宮では、破魔矢づくりが行なわれています。来年は丑年、『牛に引かれて善光寺詣り』ではありませんが3ケ日で昨年を上まわる250万人の人出が望めるかどうか。それにしても来年も、よい年であります。